

～カノコユリを花束にして～

生活デザイン科園芸デザインコースでは、学習している草花栽培の技術を生かし、環境省の絶滅危惧種に指定されているカノコユリとハマボウの増殖を行っています。毎年、球根を植えた鉢を西海市のイベントなどで配布して頂いています。今年度は西海市民の皆さんの気持ちが少しでも明るくなるように、7月28日、西海市役所支所（西彼町喰場郷）にカノコユリの切り花を持参し、生活デザイン科3年山口翔太郎君・山口隆太君から浦野幸征支所長様へ花束贈呈を行いました。所員の方々にも喜んで頂き、たいへんよかったです。



自ら栽培したカノコユリを贈る生徒
西海市西彼総合支所

丹精込めたカノコユリ贈る 西海市の支所へ西彼農高生

西海市西彼町の県立西彼農業高（原口三徳校長、190人）はこのほど、生徒たちが栽培したカノコユリの花約30本を市西彼総合支所に贈った。

同校は2010年度から市の依頼で、市花でもあるカノコユリの保護や増殖に取り組んでおり、市内の小学校や公共施設などに株分けしている。

カノコユリは7～8月にかけて花を咲かせるが、近年はイノシシが球根を食べたり、人が摘み取ったりする影響などで、環境省は絶滅危惧Ⅱ類としている。

浦野幸征支所長が受け取りお礼。生活デザイン科3年の山口隆太さん（17）は「アブラムシ駆除など咲くまでに手間がかかったが、こうして届けることができ達成感がある」と話した。

（佐崎智章）